

調査報告

繁殖期2023・② 調査結果の概要とお礼

繁殖期の5月～7月にかけて、東京本土部の全自治体を対象に、1か所以上の場所で、2週間の間隔をおいて2回調査をお願いしました。調査地は、日ごろ個人・団体で調査や探鳥会を行っているところを中心です。調査地は国分寺市の都立武蔵国分寺公園が加わり、全自治体をカバーすることができました。〔調査地については、本誌No.801をご覧ください〕

【繁殖期2023の調査時に新たに記録された鳥】

(太字は繁殖確認)

コガモ、カンムリカイツブリ、アオバト、ミゾゴイ、チュウサギ、メダイチドリ、ツルシギ、アオアシシギ、クサシギ、イソシギ、ハマシギ、アカエリヒレアシシギ、オオセグロカモメ、チュウヒ、ノスリ、フクロウ、アオゲラ、キクイタダキ、エゾムシクイ、ツグミ、コルリ、キビタキ



今年23区内で確認されたフクロウの巣立ちヒナ

【調査者・協力団体一覧】

ご参加いただいた皆様に感謝いたします。

青木秀武、荒井悦子、井上裕由、内田真人、大塚恵子、大塚 豊、小川潔、粕谷和夫、金子凱彦、軽部三男、川崎道雄、川沢祥三、川内桂子、川内博、久保賢一、倉持内武、佐伯彰光、坂本宗吏朗、鈴木弘行、鈴木遼太郎、瀬藤光子、高橋新一、高橋嘉明、田久保晴孝、田島基之、田中利彦、田畑伊織、寺本徹、土橋信夫、中島徹也、中村文夫、名執修二、新橋拓也、西村眞一、橋本和司、羽村俊夫、古沢紀、前迫大也、三間久豊、門司和夫、吉邨隆資、日本野鳥の会奥多摩支部、八王子・日野カワセミ会、府中野鳥クラブ、認定NPO法人生態工房、青梅永山丘陵探鳥会、清澄庭園探鳥会、小金井自然観察会、昭和堰周辺探鳥会、多摩川探鳥会、府中定期観察会、東京港野鳥公園探鳥会、明治神宮探鳥会〔越冬期2023〕井上京子(50音順・敬称略)

・研究部2024年の活動予定・

研究部では来年、次のような活動を予定しています。ご参加・ご協力をお願いします。

1. 越冬期(1月)・繁殖期(5・6月)の定点での調査〔継続〕
3回目の調査で、今回で終了予定。成果は新しい鳥類目録に生かされます。
2. 猛禽類の生態・繁殖調査〔継続〕
東京23区内でも科学的な調査が強化される予定です。その研究に協力していきます。
3. 新・東京都鳥類目録作成の準備・2〔継続〕
『東京都産鳥類目録2000』〔研究部ホームページにアップ中〕を継続した、新しい「東京都鳥類目録」の発行を目指し、その準備作業を進めています。ご協力ください。
4. ミヤコドリの観察調査、鳥信、ホームページの充実・活用〔継続〕
 - ① 三番瀬・葛西臨海公園はミヤコドリの国内最大の生息場所です。現地での調査を続けます。
 - ② 鳥信は、皆さんが気楽に参加できる野鳥調査です。情報をお寄せください。
 - ③ ホームページの充実・活用を進めています。興味ある方の参加を求めています。

右のメールに研究部あてでご連絡ください。office@yacho-tokyo.org